

「広瀬川出前講座」を受講してみませんか？

仙 台市立八幡小学校で「広瀬川出前講座」を開催しました！！

仙台土木事務所では、県で主催するみやぎ出前講座とは別に、「河川を学ぼう」という独自講座を開催していましたが、この度の東日本大震災への対応により、事業を休止せざるを得ない状況でした。

しかし、平成23年10月1日から県で主催する「みやぎ出前講座」が再開された事に合わせ、本講座の実施を再開しています。

今年度は、実施期間の縮小により実施回数は例年に比べ減っていますが、小学校の総合学習から大学の講義まで、幅広い依頼テーマに対応して講座を実施しています。

今回は、平成24年1月12日に開催した、出前講座の内容をお伝えします。

■平成23年度実施状況

実施日	対象者	依頼テーマ
H23.10.19	仙台市立愛宕中学校1年生	広瀬川の治水・利水・河川環境について
H23.11.4	東北学院大学環境建設工学科3年生	広瀬川の河川計画について
H23.11.18	東北学院大学環境建設工学科3年生	広瀬川現地見学(殿地区)
H24.1.11	東北工業大学環境情報工学科3年生	都市の水環境としての広瀬川の整備について
H24.1.12	仙台市立八幡小学校3年生	環境学習：広瀬川の概要について

◎説明風景

仙台市立八幡小学校において、3年生の総合学習の取り組みとして「広瀬川と仲よくなる」という学習を、学区を流れている広瀬川を題材に実施しています。

今回は、その一環として広瀬川の上流から下流までの様子及び河川の変化について学習したい、との要望が当事務所にあり、平成24年1月12日(木)に「広瀬川出前講座」を実施しました。

授業はパワーポイントにて作成した資料(八幡小学校用オリジナル)をTVにて写し出して、広瀬川の現況、過去の状況との環境の変化、川と人との関わり合い等を説明し、その後質疑応答等を行いました。

児童達は日頃から広瀬川に接し、事前に学習していることもあって熱心に興味を示し、数多くの高度な質問や意見が出され、その回答に苦慮しました。

例えば、昭和30年代には広瀬川の河岸の多くが石河原であり、それを復元した事例を画面で説明した際、◎「昔の風景よりも現在の河川の中に緑のある風景が良い。」◎「石河原の方が川で遊べるからよい」との意見が半々に分かれ、大人と同じく児童にも多様な広瀬川への思いがあることを知りました。

今後も、広瀬川を通じて、河川への親しみをを持ってもらい、さらに地域に愛される河川づくりを目指して行きたいと思っております。



【熱心な児童達からの質問】

- ・河川の木や土を取るとどうして川から水が溢れにくくなるのですか。
 - ・洪水が来るのはどうしたらわかるのですか。そしてその時、どうすればよいのですか。
 - ・川や海の水が蒸発し雨が降るので、雨は汚れているのですか。
 - ・広瀬川で洪水は見たことはありませんが、堤防やダムがあるからですか。
- 回答が気になる方は、広瀬川出前講座を受講してみませんか？